

令和7年10月1日

所属長 各位

市長 玉木 久登

令和8年度の予算編成及び組織改正の方針について（通知）

令和8年度の予算編成及び組織改正の方針を次のとおり通知する。

第1 国の動向

日本経済は、7月の月例経済報告によると、「景気は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復している」とし、「先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。加えて、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響や金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要がある」としている。

また、経済財政運営と改革の基本方針 2025において、足元の物価高については、家計や事業活動に与える影響に最新の注意を払いつつ、令和6年度補正予算並びに令和7年度予算及び関連する施策を迅速かつ着実に執行するとしている。そして、令和8年度予算については、地方創生2.0の推進、防災・減災・国土強靱化の推進、官民連携による投資の拡大、少子化対策・こども政策の着実な実施など、重要政策課題に必要な予算措置を講ずるとしており、こうした国の動向について注視していく必要がある。

第2 本市の財政状況

令和6年度の一般会計決算見込み額は、歳入が203億2千万円、歳出が197億円で、歳入歳出差引から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支は約5億9千万円の黒字となった。また、健全化判断比率は早期健全化基準を下回っている。一方、経常収支比率は、令和5年度から3.1ポイント改善するも、102.8%とまだまだ財政構造の弾力性が低い状況であることから、「入（いり）を量（はか）り出（い）ずるを制す」を基本とし、従来の施策を一つひとつ見直し、検討することが必要である。

第3 予算編成の方針

令和8年度予算編成において、物価高騰など社会情勢の変化を注視しつつ、市民が安心して暮らすことはもとより、少子化対策や子育て支援、防災対策を充実させるとともに、第5次長期総合計画に掲げる各施策を着実に推進するため「**持続可能な未来につながる有田市**」を基本方針に予算編成に取り組むものとする。

予算編成にあたっては、各所属がそれぞれ「未来への責任」という視点を持ち、的確な政策判断ができるよう心掛けるとともに、所属長においては、権限と責任のもとマネジメント機能を十分に発揮されたい。

歳出においては、財政構造の弾力性を確保するべく、経常収支比率の更なる改善を目指し、各部一般財源歳出でマイナスシーリングを実施するとともに、重点施策実現のために効果的な方法を熟考すること。また、歳入では国県補助金や寄付金等特定財源の更なる確保に庁内全体で臨まれたい。

これらを踏まえ、各所属においては、今日より楽しい明日の有田市を目指し、プロフェッショナル集団として市民に寄り添い、長期総合計画に基づいた重点施策に留意したうえで、予算要求を行うこと。

第4 組織改正の方針

組織改正については、以下の点を十分に踏まえ対処すること。

(1) 長期総合計画後期基本計画の目標達成にとどまらず、その先の将来を見据え、実効性が高く、戦略的に取り組むことができる組織体制を構築すること。これにあたり、組織の役割を明確にしたうえで、必要性や効果等を十分に精査しつつ、「選択と集中」や「最適化」をふまえた組織とすること。

(2) 人材確保が困難な状況のなかで、刻一刻と変化する社会情勢に伴う新たな行政サービスの需要に応じていくために、従前の概念にとらわれず、柔軟かつ機動的に執行しうる職員体制を構築すること。また、公民連携による新たな価値の創造や組織間の連携強化、DXの推進による業務改革等のほか、事業自体の廃止も含めた不断の業務改善、変革に努めること。

(3) 多様な働き方や雇用の流動化が加速度的に進むなか、人材確保の厳しさを踏まえ、OJTによる人材育成や、誰もが能力を最大限に発揮できる職場づくり、安定的に働くことができる環境整備を促進し、質の高い行政サービスの実現を図ること。また、内部統制の観点から、不正防止に向けたコンプライアンスの徹底や、ミス根絶のための業務プロセスの改善に努めること。

(4) 新規事業や業務量増加に係る所要人員については、原則として既存事業の

改善や廃止により、部内での職員定数の振替で対処すること。法改正等により、増員がやむを得ない場合であっても、事業執行体制の見直しを徹底し、職員定数の維持に努めること。

《第5次長期総合計画に基づいた重点施策》

＜健やかにいきいきとした生活を実現できるまち＞

- ・ 妊娠から出産、子育て期まで切れ目のない支援及び地域で分娩ができる産婦人科診療所支援など少子化対策の強化
- ・ 子育て支援施設の充実に繋がる認定こども園への取組
- ・ 新市立病院建設事業の推進及び地域医療の充実

＜心豊かな人を育み 地域で支え合うまち＞

- ・ 女性活躍の場の創出や子育てサポートの充実
- ・ キャリア教育や海外との交流による人材育成の推進
- ・ 誰もが分け隔てなく暮らせる「Well-being」なまちづくりの推進

＜つながりが生む魅力あるまち＞

- ・ 和歌山製油所エリアの跡地利用と未来ビジョンへの取組
- ・ 漁業の魅力と活力を生み出す未来への投資
- ・ 誇りあるみかん産地を次世代に残すためのチャレンジ
- ・ GX（グリーントランスフォーメーション）に資する新たな企業誘致
- ・ まちの魅力発信及び観光振興につながる取組の推進
- ・ 市制70周年記念事業への取組

＜安全・安心で調和のとれたまち＞

- ・ 浸水被害ゼロをめざす内水浸水対策の推進
- ・ 災害に備えた安心安全な環境整備の強化
- ・ 未来につながる公共施設跡活用の推進
- ・ 有田川の輝きを取り戻す環境整備及び景観保全への取組の強化

＜協働を図り未来への投資と責任ある行財政運営による持続可能なまち＞

- ・ 市民サービスの向上と業務効率化に向けたDXの推進
- ・ 国県の補助金等の積極的な活用
- ・ ふるさと応援寄付を通して有田市ファンを広げる取組の強化